

実践記録

学校名/学年	小学校 / 4年		
教科等・単元名	総合的な学習の時間：「個人情報を守ろう」		
キーワード	情報モラル 個人情報 アンケートページ 懸賞ページ		
情報モラル指導モデルカリキュラム表における目標	分類	情報社会の倫理 法の理解と遵守 安全への知恵 情報セキュリティ 公共的なネットワーク社会の構築	
	大目標項目数字 大目標項目内容	b 2：情報に関する自分や他者の権利を尊重する。 e 2：情報を正しく安全に利用することができる。	
	中目標項目番号 中目標項目内容	b 2 - 1：自分の情報や他人の情報を大切にする。 e 2 - 2：個人の情報は、他人に漏らさない。	
授業会場	パソコン教室 普通教室 特別教室〔 〕 その他〔 〕		
学習の目標	アンケートや懸賞のWebページから、個人情報が知られて悪用されてしまう場合があることを理解させ、個人情報を大切に扱おうとする態度を育成する。		
使用教材	教材名	情報モラル研修教材2005	アンケート用模擬ページ
	製作者	独立行政法人教員研修センター	(授業者作成)
	入手先(URL等)	http://sweb.nctd.go.jp/2005/index.htm http://sweb.nctd.go.jp/kyouzai_new/yogo/contents/2013.htm	

学習展開案

	学習活動	指導 評価
導入	1 雑誌の懸賞コーナーへの応募の経験について振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> 雑誌の懸賞コーナーへの応募の経験について次のような点について発表させる。 どんなことを記入したか。 応募したときどんな気持ちだったか。記入した内容やそのときの気持ちについて記述や発言から把握する。
展開	<p>2 教師が作ったWebページを提示し、答えさせる。 記入していくうちに、悩んだことや困ったことはなかったかみんなで話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 住所や電話番号を書いても大丈夫かな。 名前だけなら大丈夫だと思う。 住所はいけないと思う。 <p>3 むやみに懸賞やアンケートに答えてはいけない理由について考える。 それらの個人情報がわかると心配されることを予想し考え、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 住所を知らせたら、変な手紙や品物が届くかも知れない。 住所を知らせたら、待ち伏せされてしまうかも知れない。 <p>4 事例を見て、起こりうる問題に気づいたり、確認したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 怪しいメールが来るようになった。 はがきや手紙が来るようになった。 電話がかかってくるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが、ホームページ内の質問に答えてよいのかどうか迷い始めた場面、あるいは答え終わった場面で話し合いを持つようにする。 悩んだ理由や困ったわけを発表させ、それについて話し合いを進める。 悪質なケースにつながることを知らせる。 ダイレクトメールや迷惑メールに発展したり着払いの商品を送りつけられる可能性があることに触れる。 責任ある企業が催しているものならば、安全性も高い。自分勝手な判断は危険。 インターネットでは、送り主を確かめられないことを伝える。 困ったときは、親・先生に尋ねることの大切さにも触れる。 学校のコンピュータはみんなが使う物で、私的に利用してはいけないことを押さえる。 インターネット利用の際、自分で責任をとらなければならないことがあり、誰も助けてくれないことにも触れる。 ブログや掲示板、チャットでも、個人情報が漏洩する危険性があり、個人情報を簡単に記入し

		<p>ないことを理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料を提示し，個人情報の記入でどんな問題が起きたか確かめさせる。 <p>個人情報を記入したために起きた問題について気づき、理由が理解できたか、記述や発言から把握する。</p>
おわり	<p>5 個人情報について振り返りながら，本時の学習でわかったことや気をつけたいことをまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報を入力するような場面に出会ったらどのように行動したらよいかという観点で振り返らせる。 <p>個人情報を入力しないようにすることがわかったか記述や発言から把握する。</p>

授業の実際

- Web アンケート(自作)をもとに実際に記入しながら個人情報について考えさせる。
- 個人情報とはどんなもので公開するとどうなるのかについて教材をもとに事実を確認・理解する。

授業の成果

- 個人情報については、慎重に扱わないといけなことが理解できた。
- Web アンケートを取り入れ、模擬体験を通して対処方法を学ぶことができた。

指導のポイント・留意点

- アンケートを書いてみようということで始めるが、書いている最中の不安感から授業に入るとよい。実施後にアンケートは偽ものであることをきちんと伝えるようにする。
- 個人情報の掲載で起こる事例については、教材を提示し理解させるようにする。